

関係機関・団体長
病 害 虫 防 除 員
農 薬 管 理 指 導 士 } 様

山口県病虫害防除所長

平成 1 8 年度農作物病虫害発生予察技術資料第 2 号の送付について

今年は果樹カメムシ類の越冬量が多く、果樹への被害が多発するおそれがあります。ついでには下記のとおり、果樹園の見回りなどを徹底し、適切な防除が実施されるよう指導をお願いします。

記

果樹カメムシ類の発生状況と防除対策

1 発生状況

農業試験場落葉果樹試験地 (山口市) のチャバネアオカメムシフェロモントラップによる 5 月 1 ~ 3 半旬の誘殺数は 2 6 6 頭 (平年 5 5 頭) で過去 7 年で最も多かった。

2 今後の予想

- (1) 被害作物 果樹全般 (5 月は特にウメ、モモ等)
発生量 やや多
- (2) 今年には越冬量が多く、果樹への飛来は多くなると予想される。
- (3) 5 月中は、移動が活発になる気温の高い日にウメ、モモなどの果樹園に多飛来するおそれがある。

3 防除対策

- (1) 5 月中は、最高気温が 2 5 を超える日には園内を見回り、飛来がみられたら直ちに防除を行う。園周辺の灯火に集まる場合もあるので観察する。
- (2) 有袋栽培では早めに袋かけを行う。

4 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類に対する飛来時以外の薬剤散布は効果がないだけでなく、ハダニやカイガラムシの増殖を招く場合があるため、スケジュール散布はしない。
- (2) 今年には収穫直前まで防除が必要となる可能性があるため、収穫前日数や使用回数を考慮して薬剤を選択する。
- (3) 防除の際には、農薬使用基準を遵守し、周辺作物へのドリフトに注意する。

山口県病虫害防除所
担当 : 殿河内・岩本
Tel 083-927-4006
Fax 083-927-4071